中東地域・韓国など、MERS患者の発生が報告されている地域へ渡航される方へ感染症予防のお知らせ

今年5月、中東地域を訪問の後に韓国へ帰国した男性より、 MERSコロナウイルス感染が確認されました。 その後、韓国内で感染が拡大し、死亡例も報告されています。 現時点では、季節性インフルエンザのように、 一気に感染が広がることはないとされていますが、 今後の情報にご注意下さい。



- ●糖尿病や慢性肺疾患、免疫不全などの持病がある方は、一般的に感染症にかかりやすいため、旅行前にかかりつけ医に相談し、渡航の是非について検討しましょう。
- 咳やくしゃみの症状がある人や、動物 (ラクダを含む) との接触は可能な限り避けましょう。
- ●咳、発熱などの症状がある場合は、他者との接触を最小限にするとともに、咳エチケット(①マスクをする、②咳・くしゃみの際はティッシュペーパーなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむける、③使用したティッシュペーパーはごみ箱に捨て、手を洗うなど)を実行し、現地の医療機関へ問い合わせましょう。
- 現地では、こまめに手を洗い、加熱が不十分な食品や不衛生な 状況で調理された料理を避け、果物、野菜は食べる前によく洗う、 といった一般的な衛生対策を心掛けましょう。



発熱や咳などの症状がある方は、空港内などの検疫所へご相談下さい。長崎大学 保健・医療推進センター 2015.6.12

中東地域・韓国から帰国された方へ 感染症予防のお知らせ

今年5月、中東地域を訪問の後に韓国へ帰国した 男性より、MERSコロナウイルス感染が確認されました。 その後、韓国内で感染が拡大し、 死亡例も報告されています。 現時点では、季節性インフルエンザのように、 一気に感染が広がることはないとされていますが、 今後の情報にご注意下さい。



- 毎日、体温測定をして発熱の有無を確認して下さい。
- 発熱や咳などの症状がみられた場合は、自宅待機し、 長崎大学保健・医療推進センター(095-819-2213)へ電話にてご連絡下さい。
- なお、息苦しい、動けないなどの症状が強い場合は、 長崎大学病院(095-819-7210)へ電話にてご連絡 下さい。センター、病院へ直接出向いてはいけません。必ず、 電話をして指示を受けて下さい。
- ●症状がある間は、マスクを着用し、他者との接触を最小限にとどめましょう。